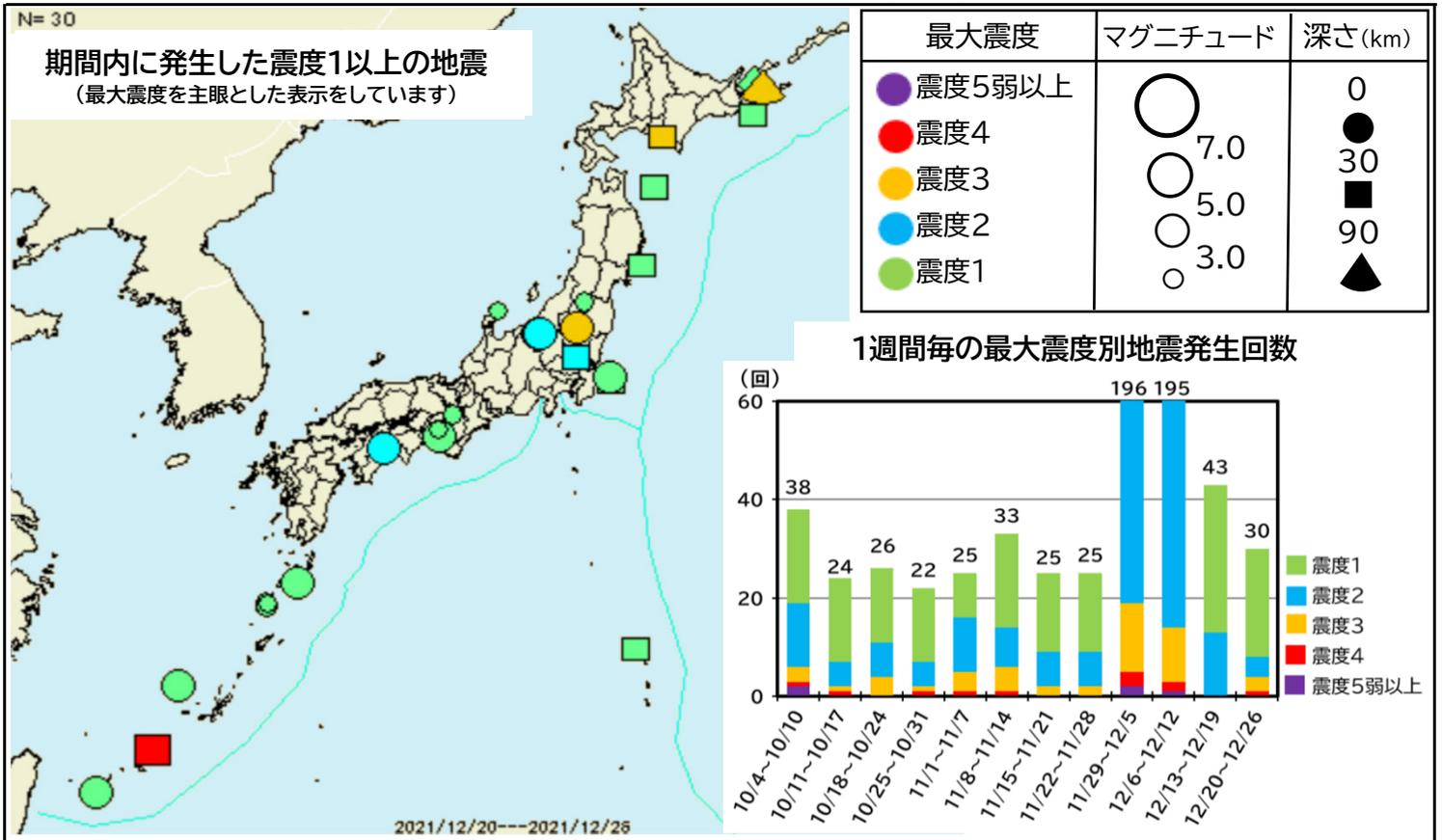


この期間の最大震度は4（宮古島近海）、トカラ列島近海は震度1が5回

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)

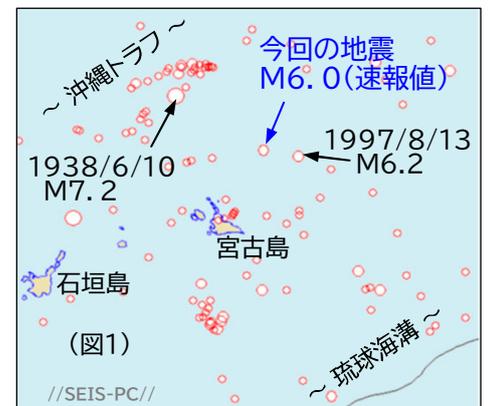


主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が30回発生。最大震度は4(宮古島近海)。
トカラ列島近海の地震は減少し震度1が5回発生 ■
- ・21日01時05分に日高地方中部で発生した地震(M4.8、深さ39km)により、北海道日高地方及び胆振地方中東部で震度3を観測したほか、北海道、青森県及び岩手県で震度2~1を観測。
- ・21日11時53分に国後島付近で発生した地震(M5.0、深さ96km)により、北海道根室市で震度3を観測したほか、北海道道東で震度2~1を観測。この地震は太平洋プレートの内部で発生。
- ・26日17時26分に宮古島近海で発生した地震(M6.0、深さ40km:速報値)で沖縄県宮古島市で震度4を観測したほか、沖縄本島から波照間島にかけての広い範囲で震度3~1を観測 (トピックス参照)。

トピックス

- 宮古島近海の地震活動 ■
- ・宮古島を含む南西諸島の南東側には琉球海溝が、北西側には沖縄トラフが並行する形で位置しており、琉球海溝ではフィリピン海プレートが南西諸島の下に沈み込んでいる(図1)。
- ・宮古島付近の1919年以降の地震活動を見ると琉球海溝および沖縄トラフ沿いではM6.5を超える地震も数は少ないながらも時々発生しているが、今回の地震が発生した琉球海溝と沖縄トラフの中間付近ではM6クラスの地震は珍しく1997(H9)年8月13日に発生したM6.2(宮古島市で震度4)のみ(図1)。
- ・一方、沖縄トラフ沿いでは1938(S13)年6月10日にM7.2の地震が発生し、宮古島で震度4を観測し、宮古島1.5m程度の津波を観測している。



- トカラ列島近海(悪石島近海)の地震活動 ■
- ・12月4日12時頃から、悪石島と小宝島の間を震源とするトカラ列島近海の地震活動は、10日以降、発生回数が少なくなっており、今期間は震度1が5回発生した(図2)。

